書 写 の 庵

2025･3 月号

立正法道会機関紙 『書写の庵(いおり)』
発行日／2025 年 3 月 1 日 （月1回発行）

(今月の行事予定)

日	曜	法 座 行 事	各 地 方 行 事	時 刻	場 所
2	日	伊勢神宮参拝		午前６時出発	本部講堂
9	日	奉 仕 作 業（随 時）		午前９時～	本部講堂
11	火	恩師月御命日経巻供養（11 番）		午後８時～	本部講堂
13	木	富井支部長経巻供養（13 番）		午後８時～	本部講堂
16	日	御本部法座日 / 天命日祭 <経巻導師 磯山 法座主 青経巻のみ 村上 恵一>	打ち合わせ会	午前９時～	本部講堂
22	土	恩師奥様祥月御命日経巻供養（22、23 番）		午後８時～	本部講堂
23	日	奉 仕 作 業（随 時）		午前９時～	本部講堂
30	日	奉 仕 作 業（随 時）		午前９時～	本部講堂

●恩師御法話　S46. 2. 18

経巻読誦しても金は儲からなかった。先祖供養しても良くならなかった。
あまりにも金にこだわりすぎて、先祖供養して誠を捧げる心が少しもなかったから
先祖に通じなかった。腹の底から勿体ないと思ったことがない。
毎日の経巻読誦によって分別が出来てくる。他人を見る目があっても、己を見る目がない。
この世に生まれて金儲けと、他人から良く見られようとしかしない。
三世を活かすには、まず現世を活かすこと。過去はどのように活かすのか。
神仏におすがりして己の過去の悪因縁を浄化して頂く。
百万遍の生死の罪、過去の悪因縁を浄化していただくよう。
己の現世での人としての役目を果たし、神仏にすがって過去の罪を懺悔し、
仏根性にしていただき、三世の役目を果たさなければならない。

●お知らせ

※伊勢神宮参拝　3 月 2 日(日)、午前 6 時本部出発　参拝人数 7 名　参拝費用 1 人 6,000 円。
※16 日の法座日並びに天命日祭の服装につきましては平常通りでお願い致します。
※天命日祭の菩提心を 16 日(日)当日に受け付けます。心ある方は宜しくお願いします。
※御奉仕はその都度、確認お願いします。また、格別のご配慮をお願い申し上げます。
　個々におきましては、無理のない対応にてお願いします。

編集後記

昨今は、暖かかったり寒かったりの変動が激しく、体調管理が大変ですが、皆様、一ヶ月お変わりなくお過ごしでしたか？昨日、近くの川辺りに行きましたら、菜の花の黄色が目に鮮やかに満開になっていました。風に揺れる姿に春を感じて、なんだか気持ちも明るくなりました。本当に、気候変動が大きいので、栄養、休養をしっかり取って、季節の変わり目を上手に乗り切っていきたいですね。
また、このひと月、しっかりと神仏にすがり題目にすがりながら、精進と変え行きましょう。

今後も様々な情報を発信していきます。次号は 4 月 1 日発行予定です。